

# 株式会社 ビオスタ

<http://www.biostir.com/>

所在地 兵庫県神戸市中央区港島南町6-7-4 HI-DEC 404 TEL&FAX 078-894-3113 078-894-3114  
 代表者 代表取締役 高木 滋樹 創立年月日 2007年4月4日 資本金 300万円 従業員数 3人

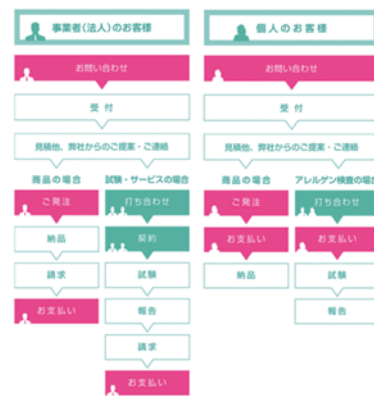
## 事業内容

株式会社ビオスタは大手製薬企業の研究者が独立し、設立された。主力製品である「ビオスタAD」はマウスにアトピー性皮膚炎様症状を発症させる試薬で製薬企業や化粧品企業の開発に用いられている。アレルギー様症状を発症させるものは他にもあるがアトピー様症状を発症させる試薬は「ビオスタAD」のほかは見られない独自の試薬である。

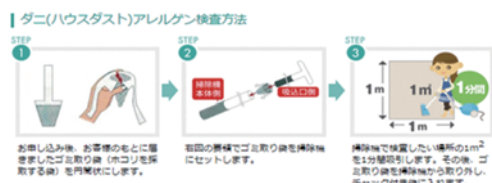
この試薬販売に加え製薬企業や研究機関からの受託により発症マウスを供給し、研究機関の開発を支援している。又、大手家電メーカーよりアレルギー分析、アレルギー検査・測定などを受託試験を行い、データは販促用ツールとして利用されている。

アレルギー自体(花粉、花粉由来物質、ダニ、ダニ由来物質、昆虫、食品)の販売も数多く行っており、アレルギーの専門企業として活動している。これらのアレルギーの研究により開発された肌に優しい化粧品「アルフェイト」をプライミングローションとして発売している。

## 販売の流れ



## 共同開発の流れ



## 知的財産活用事例

大学や企業との共同研究も多く行っているが、「ビオスタAD」に関しては大手製薬メーカーの協力のもと開発されたが、特許は取らず、ノウハウのみで製造法を秘匿している。特許で製造方法を公開したとして企業がビオスタの特許を侵害していることを証明することはほぼ不可能であることは明らかであり、アレルギー疾患、特にアトピー用症状を発症させる試薬はほかに例を見ない。

このアレルギー分野での研究を生かした製品としてプライミングローション「アルフェイト」を開発した。徳島大学発ベンチャーで同じくアレルギー研究をしている所や、製薬企業とも連携し、お互いの製品の長所を活かしてバリエーションを広げている。

## 知的財産の創出や活用に関する取組

試薬で特許を取れば製造方法を公開することになり、研究機関では自由に使えることから販売にいたらないことが想定される。現在は試薬販売の和光純薬工業を通じて大手製薬メーカーへの納入が多く、大学研究機関からの受注も受けている。一部韓国にも代理店に輸出しているがこちらはほとんどが大学及び研究機関での売り上げになっているので論文の引用も多い。一部を除き、基本的に製薬メーカーからの論文は製品が上市されてからでないと出てくることは稀である。また、研究機関からの発症マウスの受託作業も多い。試薬販売は予想が難しく売り上げに安定感を欠く。受託にしてもスクリーニングなど大量の受注は予想ができないため、増減が激しく裾野の拡大でカバーしていくしか手がない。論文での引用や、大学のアレルギー研究以外の疾病によるかゆみ等他の研究分野にも使用されることが出てきているのでまだ研究分野の裾野が広がる余地は残されている。

## 起業を目指す人への知的財産に関するアドバイス

中小企業のオーナーは知的財産の重要性を理解し事業計画に合わせたものにするべき。技術者はわかっているがオーナーにその意識が薄いように思う。特にバイオ分野は特許とノウハウをきちんと分けて戦略的に行うべきであり、製法特許は侵害されていても証明するのは難しく製品に近いところの特許つまり補強するためにも周辺特許も計画しておく必要がある。